

終末期のケア、家族と共有へ

「人生会議」で自分らしく

いつまでも自分らしく生きていくために人生に対する考え方を信頼できる家族らと話してもうおうと、各務原市は人生会議フォーラム「あなたに伝える私の想い」を市産業文化センター(同市那加桜町)で開いた。

(織部俊太朗)

各務原市が フォーラム 市民、落語家ら議論

人生会議は、終末期にどのような医療やケアを受けるかを事前に家族や医師らと繰り返し話し合う「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」の愛称。

市では2019年度に医療や介護関係者らで人生会議のワーキンググループを立ち上げ、21年度に市独自のライフプランニングノート「人生アルバム」を発行した。人生アルバムは過去から現在までの人生を振り返り、これか

らの生き方を考える助けとなるもので、活用を呼びかけている。

今回のフォーラムでは、東海中央病院副院長で緩和ケアセンター長の川端邦裕さんや落語家の桂福若さん、市民代表の土屋富子さんらが「人生会議ってなあに?」と題してパネルディスカッションを行った。

桂さんによる落語や岐阜各務野高校書道部のパフォーマンスもあった。



人生アルバムの活用法などを伝えるパネルディスカッションの登壇者=各務原市那加桜町、市産業文化センター

山県市議会の△30日 本会議(提案説明)△12月5日 嘉委員会△7日 本会議△9日 総務産業建

12日 厚生文教委員会△14日 本会議(一般質問)△15日 同(委員長報告、討議)

主な日程は次のとおり。日間と決めた。

30日に

会